

令和5年度 和歌山市立山口小学校スクールプラン

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 友達と仲良くしてほしい
- 地域に誇りをもってほしい
- 学校の様子が知りたい

【学校教育目標】

生き生きと主体的に学び、
心豊かでたくましい子供を育てる

【めざす児童像】

- ・自ら学び、自ら考える子
- ・やさしく思いやりのある子
- ・たくましく元気な子

前年度の学校評価

- 家庭・地域と連携し、創立150周年を盛大に祝うことができた。
- *コロナの影響により未実施とした行事もあるが、内容や行い方を工夫し、実施できた

児童の実態

- 異年齢の活動を仲良く、協力してできる【あおいの縦割り活動】
- あおいの掃除に黙々と取り組める
- 時間を守って行動できる
- 自らの思いや考えを表現する力に課題が見られる

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎誰もがよくわかる授業づくりの推進
- ◎読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見早期対応
- ◎進んで挨拶・仲間作りの実施

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進・健康増進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎地域の資源活用の推進
- ◎幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進

具体的な取組

- 国語科を柱に、「書くこと」「話すこと」を効果的に取り入れた学習の在り方を研究し、山口タイム等を有効に活用する中で、表現力を培う
- 全教員が研究授業を行い、授業改善を図る
- 朝読タイムを設定し、市民図書館の団体貸出を利用する等、一人一人の読書活動を充実する

- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見、早期対応に努める
- あおいの縦割りの活動、ペア活動、幼稚園との交流等で、子供同士が関わる機会を増やし、コミュニケーション力を養う
- 児童が主体的に考え、活動する姿を支援し、豊かな関わりを育む
- 11月に人権をテーマとする参観授業及び講演会を開催し、人権感覚を磨く

- 意図的・計画的、組織的な体育学習を実施する（学習した内容の生活化を図る等、運動好きな児童を育成する）
- 早寝・早起き・朝ご飯の推奨
- 情報モラルや携帯電話・スマートフォン・SNS等の安全な利用について、指導を促進する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 各種便り、HP、玄関モニターを通して積極的に学校の情報を発信する。授業や行事等を積極的に公開、また個人懇談会を充実する
- 幼小の接続、中学校区での幼小、小中連携を推進・充実する
- 地域の特性を生かした学習に地域人材をゲストティーチャーとして積極的に招聘する。多様な生き方を学ぶとともに、地域の自然・文化に触れる機会を通して、ふるさとを大切に思う心を育成する

指標

- ・国、県学力調査の正答率が、平均を上回る
- ・毎日の勉強がわかる、子供にわかりやすい授業を工夫している（児童85％・保護者80％）
- ・読書が好き（児童90％）

- ・学校が楽しいと感じる（児童90％）
- ・挨拶ができる（児童90％）
- ・人権講演会への参加を促進

- ・新体力テストの課題がある項目を県平均と同等とする
- ・朝食を毎日食べている（6年児童100％）
- ・携帯電話・スマホ・PCの使い方について家の人と約束したことを守っている（中高学年児童90％）

- ・学校の様子がよく伝わった（保護者80％）
- ・今住んでいる地域の行事に参加している（6年児童90％）

◎：特に重点的に取り組むこと